

研究課題：胆道癌外科治療における安全性および長期予後の検討と外科切除妥当性に関する研究に関する情報公開

本研究は、名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学講座を代表施設として、当院をはじめ5つの医療機関が参加して実施される多機関共同研究です。

1. 研究の対象

2010年1月1日から2021年12月31日までの間に慶應義塾大学病院で診療・治療を受けた胆道癌の患者様を対象としています。

2. 研究目的・方法・研究期間

胆道癌にとって外科切除は唯一根治が望みうる治療ですが、高度の進行癌として発見される症例も少なくありません。国内ではこれまで積極的な外科手術の適応により外科切除率の向上と生存成績の延長が図られる一方で、切除不能と診断された進行胆道癌患者さんに対する薬物療法を中心とした非外科的治療の成績も徐々に向上しています。

現在の診療ガイドラインでは切除可能癌に対しては外科切除が、切除不能癌に対しては薬物療法が標準治療として推奨されていますが、進行胆道癌に対する外科手術の適応や手術成績および長期生存成績は国内の専門施設間でも異なっております。そのため、本研究では当院で診断された胆道癌症例の治療経過および治療後の生存成績を後方的に集積し検討することにより、胆道癌患者さんの外科治療や薬物療法の安全性や治療成績の詳細を明らかにすることを目的としております。

研究期間は実施承認日～2026年12月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、術後合併症や副作用等の発生状況、カルテ番号、手術前の血液検査データ、CTやMRIなどの画像データ、手術記録、術後経過記録、病理検査結果、退院後経過記録等。なお、氏名や生年月日等、直ちに個人を特定できる情報は研究番号に置き換えたうえで研究を行います。また研究結果については専門の学会での報告や学術論文としてしかるべき医学誌に公表することを目的としておりますが、この場合においても個人を特定しうる情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。ま

た、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒160-8582

東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学医学部外科（一般・消化器）

阿部 雄太

電話：03-3353-1211

研究責任者：慶應義塾大学医学部 外科学講座(一般・消化器) 阿部 雄太

研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学講座 水野 隆史